PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

61-133933

(43) Date of publication of application: 21.06.1986

(51) Int. CI.

G03B 17/12

(21) Application number : **59-256872**

(71) Applicant: KONISHIROKU PHOTO IND CO LTD

(22) Date of filing:

04. 12. 1984

(72) Inventor: YAMADA MINORU

ITO EIJI MIYAMA KENJI

SAWAMURA MASATAKA

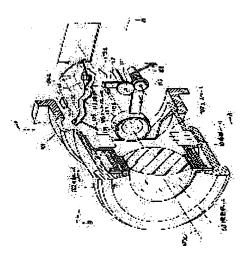
(54) TWO FOCUS CAMERA

(57) Abstract:

PURPOSE: To simplify a power transfer mechanism, and to transfer the power efficiently by placing a lens driving motor in the outside of a rear photographing optical path of a front lens unit, and in a gap formed by an arrangement of a rear lens unit.

CONSTITUTION: When a movable lens unit 102 is brought to a collapsible barrel against a lens barrel base part 101 fixed to the front of a camera body, an abutting piece 113c of the tip of a lever 113 is pressed by a receiving plate 121 of a base part 101, the lever 113 is turned counterclockwise, and by turning gears 111, 110 through levers B113b, A112, a conversion lens 106 is rotated counterclockwise, moved from an optical path 103a of a photographing use main lens 50, and withdrawn into a space 102a in the unit 102. In this way, a photographing optical system is switched to a short focus system, and occupies a

rear gap of a rear lens unit 10, but a dead space is left. Accordingly, a lens driving motor can be placed in the dead space.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] [Date of sending the examiner's decision of rejection] Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office

9日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

@ 公開特許公報(A) 昭61-133933

alnt Cl.

識別記号

厅内整理番号

@公開 昭和61年(1986)6月21日

G 03 B 17/12

7610-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

69発明の名称

2焦点カメラ

顧 昭59-256872 创特

願 昭59(1984)12月4日 四出

明者 山 - 83

八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

620年明 者

藤

八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

明者 勿発

深 Ш. 治

八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

明 79発

孝

入王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

村 小西六写真工業株式会 頭人 **勿出**

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

2+

弁理士 野田 義親

1. 晃明の名称

2 焦点カノラ

- 2. 特許請求の範囲
- (1) 後方レンズユニットが光路に出入して2 焦点 光学系を形成する2無点カメラにおいて、前方レ ンズユニットの後方撮影光路外で、前記後方レン ズユニットの配置によって形成されるギャップを 利用して、レンズ駆動用モータを配置したことを 特徴とする2焦点カメラロ
- (2) 前記モータの軸を撮影光軸に平行した方向に 配置したことを特徴とする特許請求の範囲第1項 記載の2焦点カメラ。
- 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、焦点調節のための駆動用モータをレ ンズ鏡 腸内 に配 置した 2 焦点カメラ に関するもの である。

〔従来の技術〕

共通の光学系で無点距離を長・短2段階に切換

えられる2無点カメラの撮影光学系は、一般に撮 影用主レンズとコンパージョンレンズとから成り、 その双方を組合せることにより長焦点距離をまた コンパーションレンスを外して前記撮影用主レン ズのみを使用することにより短点点距離を得るよ ろに構成されている。

この撮影光学系の勿換の操作は、前述した撮影 用主レンズとコンパーションレンズを共化収容し た可動レンズユニットと呼ばれるレンズ鏡膜を、 カメラ本体から引き出したりあるいは花園させた りする動作によって行なわれるようになっている のが普通である。

かかる 2 焦点カメラに対して自動焦点調節装置 を組込む場合、前述した可動レンズユニットには 前記攝影用主レンズを合焦位置に作動し制御する ための各部材が組込まれることになるが、それら の各部材を駆動する動力深たるモータがカメラ本 体内に配置されていることが多いため、動力の伝 連機構が撮影用主レンズの移動に追随して機能す るものであることが要件となって構造が複雑化し、 また伝達距離も長くなって作動効率の低下が避け ちれない。

[発明が解決しようとする問題点]

本発明は、2 無点カメラにおける合類操作のための動力限たるモータを可動レンズユニット内に 配設することを可能として、動力の伝達機構の単 純化と効率化を図ることを目的としたものである。 [問題点を解決するための手段]

取付差板に框設したストップピン 109 に当接して 停止している。

110 は前記支持部材 107 にその回動中心を一致して取付けた歯車で、同じく前記取付基板に軸着された別の歯車 111 と歯合している。

112 は前記機車 111 にその回動中心を一致して 一体に取付けたレバーAでその左側端面は断面が 円弧状に形成されている。

本発明の1 実施例を第1 図ないし期4 図に示す。
101 はカメラ本体(図示せず)の前面に固定された説明基部、102 は前記鏡順基部 101 に内嵌して前後に覆動して図示の如く引き出しあるいはその反対に沈陽出来るよう取付けられた可動レンズニニットである。

50 は推影用主レンズで電磁ニニット10 およびその前方に配設した合無装置と共に撮影光学系の前方レンズユニットを形成し、カノラ本体の制御装置によって算光および焦点調節の制御を受けるようになっている。

105 は前記撮影用主レンズ50の光路を制限する 適光枠、106 は前記電磁ニニット10 と放應光枠105 の間に配股されたコンバージョンレンズで、その 光軸は前記撮影用主レンズ50の光軸103aの延長線 上に一致するよう量かれている。

107 は前記コンパーションレンズ 106 を保持する支持部材で、前記電磁ユニット10の 取付基板 (図示せず) に動着され、扱りばね 10.8 によって時計方向に付勢された状態にあるが、同じく前記

かくして、これらの各部材と前配コンパージョンレンズ 106 は前送した前方レンズユニットに対して撮影光学系における後方レンズユニットを形成している。

かかる状態で撮影光学系は長焦点系を構成しているが、 創記可動レンズユニット 102 をカメラ本体の前面に固定された前記鏡刷基部 101 に対して 世界されると、 解記様杆 113 の先端に取付けた当接片113cがカメラ本体の前面に固定された鏡刷基部 101 にある受け板 121 によって押圧されるので 前記様杆 113 を反時計方向に回動し前記レバーB 113b、レバー A112 を介して歯車 111,110 を回動することにより、 前記コンパーションレンズ 106を反時計方向に大きく回転して動記機影用主レンズ50の光路103bより移動して可動レンズニット 102 内のスペース102a 内に透過させる。

かくして撮影用光学系は短焦点系に切換えられることとなり、このように無点距離の切換に当って、後方レンズユニットは前記電磁ユニット10の を方のギャップすなわち断面空間をその円周上の 選半にわたって占有することとなるが、その反対 個の円周上に使用されないデッドスペース102bを 残している。よって本発明においては数デッドスペース102bに焦点調節装置の動力原たるレンズ駆動用のモータ60を配置することを提案するものである。

すなわち前配デッドスペース1026の具体的位置 は第2回および第3回に示す如く、前配電磁ニニット10と適先や105の間において撮影用主レンズ 50が包括する光路103bを囲むほぼ環状のスペースの一部であって、前配を方レンズニニットと同 一断面上の空間である。

前記テッドスペース1.02bは電磁ユニット1.0を介して合無装置に至近の位置にあり、該デッドスペース102bにモータ60を配置することによりそれ等の接続が容易となり、さらに可動レンズユニット102として合無装置と一体で移動されるので接続構造も単純となり、自動焦点調節装置の組込み上額る有利な構造となる。

たお本発明によって可動レンズユニット 102 内

なお、放ストップ爪24 はフランジ部21を貫通した 電磁ユニット10 の前配規制ビン11 の保止作用を受 け時計方向への回転が阻止されている。

一方、前配円筒部26の周面には3本の直進溝27を等間隔にて光軸方向に設け、その内周に摺動可能に嵌合した爆影用主レンズ50のガイドピン51をそれぞれ嵌入して鼓操影用主レンズ50を光軸方向に過退出来るよう保持している。

40 は何記レンズガイド20 の円筒部26 の外周に回動自在に嵌合するレンズ駆動部材で、その円筒部41 に設けた3 本のカム 帯42 が撮影用主レンズ50 の前配ガイドピン51をそれぞれ 低通せしめ、前配 医進程でよりと共働して 撮影用主レンズ50 の直進位置を規制する 状態を形成している。また前配レンズ駆動部材40 はフランジ部46 に備えた歯車部分47を介してモータ60 のピニオン61により 図示位置から時 計方向への回転とその復帰のための逆転が出来るようになっている。

30 は前記レンズ駆動部材40の円筒部41に外嵌するレンズ位置決め部材で、その増画には撮影用主

た配置されたモータ60 による具体的な自動無点調 節装置の構成とその作動を第4 図によって説明す ると次の通りである。

図は本装量を構成する各部材を光軸方向に設開 して示したもので、これ等各部材はカメラの鏡刷 部にユニットとして組込まれ、カメラ本体側に備 えた電源と制御装置により駆動、制御されるもの である。

10 は鏡餅内に固定した電磁ニニットで、その内部には撮影光学系の露光量を制御する第1 可動コイル部材(図示せず)と接述する保止部材を規制するための規制ビン11を植取した第2 可動コイル部材12とを光軸を中心として回動出来る状態で収容している。

20 は前記電磁ユニット10 の前面に取付けたレンズガイドでフランジ部21 と円筒部26 とから成り、フランジ部21 上には前述した制御装置にレンズ位置の情報を送るための検出用パターンをもったブリント板22 および引張ばね23 によって時計方向に付勢されるストップ爪24 を軸着して備えている。

レンズ50のガイドピン51を当接することにより数 撮影用主レンズ50を所定の無点位置に数定するた めの段カム31を前記ガイドピン51に対応した位置 に3個所設けている。前記レンズ位置決め部材30 と前記レンズ駆動部材40とはレンズ位置決め部材 30の突起32に取付けた押圧バネ33の先端が、レン ズ駆動部材40のフランジ部46に設けた V 字状の切 欠48に係合することによって一体とされ、前記モ ータ60により同時に回転される状態となっている。

なお、この状態で前記レンズ駆動部材40のカム 神42は、前配レンズ位置失め部材30の食力ム31と ほぼ平行して配置され、かつ解カム42が規制して いる撮影用主レンズ50の前配ガイドピン51を前配 食力ム31に抵触させない位置に値かに難聞して設 けられているものとする。

また前記レンズ位置決め部材30の他方の突起34には、接片35が取付けられていて、前記レンズ駆動部材40の回転に従って、前記レンズガイド20のプリント板22上の断続した回路パターンを復動することにより、前記制御装置にパルス個号を送る

特開昭61-133933(4)

ようになっており、また他の部分には蚊部御装度からの信号により作動する前記ストップボ24を係合すべき爪歯36を形成している。

かかるレンズ駆動部材40とレンズ位置失め部材30とは、前配レンズガイド20のフランジ部21の前面と、数フランジ部21に3本の柱71を介して取付けられた押え板70の背面との間に挟持され回動自在に支持された状態とされている。

次にその作用と機能について説明する。

カメラのレリーズを操作する動作に運動して測 距裝置が被写体距離を検出し、その情報を前記制 御裝置に入力する。それと同時に安全のために先 ず前記第2可動コイル部材12に通電して前記規制 ピン11に時計方向の回転トルクを与え、前記スト ップ爪24が不用意に前記レンズ位置決め部材30の 爪曲36と係合していた場合、それを解除する作用 をする。

前記規制ビン11の作動に若干遅れて前記モータ 60 が始動し前記レンズ駆動部材40 と前記レンズ位 健決め部材30を何時に時計方向に回転させる。

プに当接し、放攝影用主レンズ50を測距装置の距

離情報に対応した光軸上の位置に数定したのち所定の時間を経てモータ60が停止し回転を終える。かくして被写体に対する撮影用主レンズ50の合 無が行なわれ、続いて前記第1 可動コイル部材の作動により即出を行なって撮影を終えるとその信号によって前記第2 可動コイル部材12が再び起動して前記規制ビン11を時計方向に移動し、前記ス

トップ爪24を前配爪曲36との係合から外す。

次いでモータ60が逆回転を始め、先子前配レンズ駆動部材40を反時計方向に回転して撮影用主レンズ50を直線的に前進させたあと、その切欠48が前配レンズ位置決め部材30の押圧パネ33を保合する位置に連すると、該レンズ位置決め部材30を一体として共に反時計方向に回転して当初の状態に役船させた後、モータ60が停止して作用を終了す

なお、モータ60の逆回転に際して前記レンズ位 世決め部材30が押圧パネ33と切欠48との係合による一体化の前に摩擦等によって従勤回転すること それに伴い境影用主レンズ50は直接的に径退し同時に前記接片35とブリント板22の摺動が始まって前記機影用主レンズ50の位置に対応したベルス信号が制御装置に送られると、予め側距装置の距離情報に対応して設定されていた境影用主レンズ 50の基準位置と比較され、一致した場合即配子 一夕60の回転は一時停止して前記第2可動コイル部材12が逆転して前記規制ピン11を反時計方向に退避させる。従って前記ストップ爪24が爪歯36に係合して前記レンズ位置決め部材30の回転を強制的に停止させることとなる。

前記第2可動コイル部材12の作動に使いてモータ60が再び回転を始め前記レンズ駆動部材40をさらに時計方向に回転するので、レンズ位置決め部材30に取付けた押圧パネ33は切欠48から外れ、レンズ駆動部材40だけが単独で回転を使けることとなる。

このレンズ 駆動部材40の回転により前配股カム 31 より離間した位置に保持されていた撮影用主レンズ50のガイドピン51 は段カム31 の所定のステッ

があっても、その全回転角度は制限されているため前記レンズ駆動部材40の復帰中には必ず係合して前途した状態に達した後停止されるようになる。 〔発明の効果〕

本発明により、モータの動力によって焦点調節 装置を駆動する動力伝達機構が簡単かつ効率的と なり、しかもカメラ本体のコンパクト化にも成果 のある自動焦点式の2 焦点カメラが実現すること となった。

4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明の2無点カメラにおける可動 レンズユニットの斜視図。第2、第3回はその要 部断面図。第4回は前記2無点カメラに組込まれる焦点調節装置の1例を示す展開斜視図。

102 ……可動レンズユニット

102a …… スペース

102b....... デッドスペース

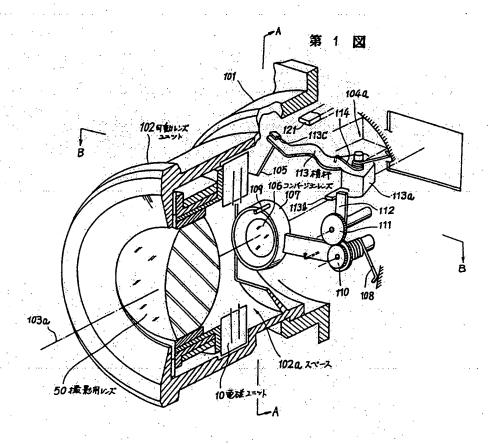
50 …… 撮影用主レンズ

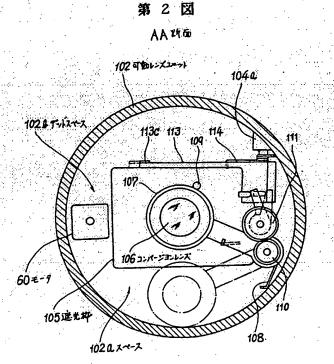
103a …… 光軸

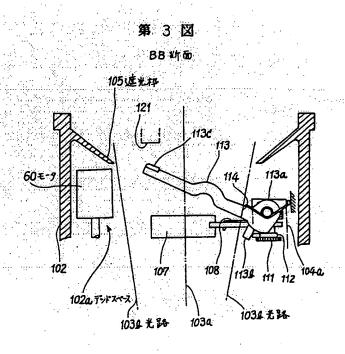
1036 光路

105 …… 選光枠 106 …… コンバージョンレンズ 107 …… 支持部材 113 ……横杆 10 …… 電磁ゴニット 60 ……モータ

代理人 弁理士 野 田 韓 親







第4図

